



広 報

ふじみ

2010

1

平成22年
No.478



富士見中学校生徒会を担う、南中学校、富士見高原中学校の生徒会長、副会長(男子・女子)のみなさん(2学年)
—富士見高原中学校にて

4月から、一緒に学びます。落合・本郷・境・富士見小の6年生もね!

今年4月、南中学校と富士見高原中学校が統合され、「富士見中学校」が誕生します。

落合小学校 6年生 5人
本郷小学校 6年生 38人
境小学校 6年生 18人
富士見小学校 6年生 75人と、
南中学校 1年生 39人 2年生 36人
富士見高原中学校
1年生 112人 2年生 128人

あわせて451人(H21.12.1現在)が、4月から一緒に学びます。いろいろな出会い、楽しみですね!

主な内容

- 02 町長・議長新年挨拶
- 04 「富士見町アツモリソウ再生会議」のあゆみ
- 07 資源物の収集量と処理費用(平成20年度)
- 08 平成22年 区長紹介
所得税・住民税申告情報 第2回
- 09 富士見町農業委員会委員一般選挙
オストメイト対応トイレ設備設置のお知らせ
一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)にご意見をお寄せください
- 10 「中学生の税に関する作文」表彰
- 12 教育委員会だより
- 14 東都高原富士見会だより
- 15 平成21年 富士見町重大ニュース

新 年



富士見町長 小林 一彦

あけましておめでとうございます。

私が町長に就任して早四ヶ月が経ちました。夏の日差しが強い中を初登庁した八月三十一日がつい昨日のことのように思われ、本当に無我夢中で町長という職に取り組んできたことを実感します。これからも今年度の行政を計画通り完遂し、来年度の改革計画を作り、町民の皆様の理解を得ながら予算を作成しなければなりません。更に気を引き締めて、皆様の期待に沿えるよう頑張りたいと思っています。

依然として日本は政治が不安定で、経済不況、雇用問題は好転する兆しがなく、富士見町にも暗い影を落としています。幾つかの地場産業の現場を見させていただき、経営者、社員の皆様とも懇談させていただきましたが、操業率が五十パーセントから三十パーセントに落ち込んでいるという厳しい現状を、肌で実感しました。それでも必死に頑張り、工夫をしてこの苦境を何とかしても克服しようという強い決意が感じられ、大変頼もしく思いました。

富士見町には素晴らしい自然、古くから続く歴史と文化、広大な土地、そして磨かれた匠の技を持つ地場産業があります。現在幾つもの問題点が顕在化していますが、再発展の要素も多くあります。

明確な将来への発展ビジョンを描き、町民の皆様とともに素晴らしい町づくりに進進いたしますので、今年もよろしく願いたします。

賀 謹



富士見町議会議長 小池 久長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃は富士見町議会にご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、政治・経済が大きく変革を遂げた年でありました。二十一世紀に入り成熟した社会は様々な価値観を生み、それが渦となり時代を大きく変貌させ、まさに国民の「心の声」が反映された結果となりました。

明治以来日本は、近代国家形成のため苦悩し、多くの人々の犠牲と努力により現在の平和と繁栄があります。しかし、その繁栄に陰りが出てまいりました昨今は、均一な行政サービスは望めず、各自治体では本当に住民が必要とする事業を独自に展開しなくてはなりません。

議会としましては、本年度より町民の皆様の声を行政に反映するため、議会懇談会等を計画し、また、税金が一円でも無駄に使われることのないよう、皆様の目線でお応えできますよう努めてまいります。

多難な時代ではありますが、町民の皆様の安全と安心を最優先とし、本年度開催されます御柱祭同様、議員一同力を合わせて難局に臨む所存でございます。

結びになりますが、故事より「日に新たに、日に新たに、また日に新たなり」の言葉を贈り、今年が安寧で実り多き年でありますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

ソウを未来の子どもたちに引き継ごう



▲自生するアツモリソウ 2009.6.19

富士見町には、世界に誇れる野生ランの自生地があります。この野生ランは、園芸的には釜無ホテイアツモリソウ(正式名称「ホテイアツモリ」以下「アツモリソウ」と表記)と呼ばれています。この花が今、絶滅の危機に瀕しています。富士見町と富士見町アツモリソウ再生会議は、この花を町民の財産と位置付け、絶滅の危機から救い、次世代に引き継ぐために、今年も積極的な保護活動を推進します。

新年を迎え、今までの歩みや、富士見町アツモリソウ保護計画に掲げたこれからの目標を町民のみなさんにお伝えし、富士見町の自然の豊かさを共有したいと思えます。

「富士見町アツモリソウ再生会議」のあゆみ

平成18年
4月1日

『富士見町アツモリソウ再生会議』設立
(メンバー)

野生ランの王者、アツモリソウを守りたいと願う、中山植物園・入笠ボランティア協会事務局・株式会社ニチレイグループ・富士見高校・長野県希少野生動物監視員・富士見町。

平成19年
5月15日

『富士見町のアツモリソウ保護条例』制定

以来、盗掘防止を目的に、大勢の町民ボランティアによる監視活動が行われています。



アツモリソウ再生会議 2009.7.17

平成20年
7月1日

環境省所管「生物多様性保全推進支援事業」採択

(支援期間 平成20年度～平成21年度)
併せてニチレイからも地域貢献という位置づけで人的、財政的支援を頂きながら、保護活動を行っています。

平成21年
11月

「富士見町アツモリソウ保護計画」

平成22年度～31年度「策定」

- ◆ 目標 アツモリソウの保護活動を通じて富士見町の自然環境・生物多様性を守る
- ◆ 目標(10年後)
 - ① 自生地のアツモリソウの現状を維持する
 - 確認されている20株を引き続きシカの食害盗掘・自然災害から守る
 - ② 実験植物園(入笠山方面)で、千株のアツモリソウを育てる
 - アツモリソウがかつてのようには咲く入笠山を目指して、周辺の環境に十分配慮しながらアツモリソウを植栽する
 - ③ 富士見町内で、3千株のアツモリソウが開花する
 - 富士見町の希少野生植物保護活動を啓発し、身近に感じることができるシンボルとするため、アツモリソウの苗を町民の皆様へ育てていただく

自生地確認



▲毎年行う自生地確認調査 2009.6.19

「富士見町アツモリソウ再生会議」設立後、最初に行ったのは、自生地の確認でした。

平成18・19年に行われた自生地探しには、延べ110人もの皆さんにご参加いただき、絶滅したと思われていた野生のアツモリソウを、奇的に数株確認することができました。

その後も調査は続けられ、平成21年までに20株(内3花)が確認されています。

“地球がくれた大切な贈り物” アツモリ



▲アツモリソウの人工交配 2008.5.27

シカの食害からアツモリソウを守るために、ネット柵を設置したり、集中豪雨による土砂崩落を防ぐために土のうを積んだり、盗掘防止のための監視活動をしています。

また、人工交配により種子を採取し自生地に播種したり、原種を保存するための無菌培養増殖にも着手しています。

① 自生地の保護と
遺伝資源(原種)の保存



▲栽培技術研究会 2009.10.29

入笠山をアツモリソウが咲き誇る場所にするため、無菌培養苗や親株の植栽を始めました。

また、だれもがアツモリソウを栽培することができるようマニュアルを作成するため、釜無ホテイアツモリソウ栽培技術研究会を立ち上げ、町民による無菌培養苗の育苗と勉強会が始まっています。

② アツモリソウの咲く里山
再生と生育環境調査を目的
とした実験植物園整備事業



▲南中学校閉校記念植栽 2009.11.13

アツモリソウを園芸化することにより希少性を緩和し、盗掘から守ります。また、環境教育にも力を入れ、町内の教育機関(小・中学校及び高校)と連携し、これまでに数多くの講演会やシンポジウム、自然講座を開催し、アツモリソウの育つ環境を守ることの必要性や豊かな自然環境に囲まれて暮らすことのできる素晴らしさについて学んだり、実際に苗を育てる活動を展開しています。

③ アツモリソウの園芸化と
環境教育

アツモリソウ保護活動の柱(「富士見町アツモリソウ保護計画」より)

富士見町アツモリソウ再生会議メンバーである名取 陽さん(長野県希少野生動植物監視員)に、アツモリソウの自生地の現状と、新年を迎え、改めて保護活動にかける思いを記していただきました。次頁をご覧ください。

富士見町の宝 自生アツモリソウの現状

アツモリソウ再生会議自生地保護担当 名取 陽



▲マルハナバチ受粉の貴重な写真
(平林啓作 保護監視員撮影)
2009.6.17

西山(入笠～釜無山)に咲くアツモリソウは、深い自然に守られて、順調に生育しています。確認され保全されている個体は、4エリア、20株、27芽です。そのうち昨年は2株で3花の開花がみられました。

自生地での自然結実は無理と言われておりましたが、マルハナバチによる受粉を確認し、2花が自然結実しました。

アツモリソウの種子は非常に小さく(長さ約0.8mm)、自然発芽には菌根菌との共生が必要で、地上に芽を出すまでには2～3年かかると言われています。

一昨年、自生地に播かれた種子は、未分化の状態ながら1年後の昨年秋、地中で生存していることが確認されました。自然結実した2果のうち、1果は環境省と長野県の認可を受けて人工的に播かれ、1果は自然散布されました。今年は、この種子が発芽することが、最大の目標です。



▲アツモリソウの結実 2009.10.10

入笠～釜無山の深山に咲く花々は、色が濃く鮮やかなことが知られています。それは南アルプスの深い地層と、水と光と空気とが2億年にもおよぶ造山活動で育んだ結果と考えられます。言うまでもなく、アツモリソウを守り保全することは、私たち富士見の住民の豊かな生活を保全することにつながります。

40年前のように、富士見町の深山から里山、庭先までアツモリソウの花が美しく咲く光景が再生され、西山の「自生アツモリソウ見学ツアー」が住民の皆さんの手で実施される日が一日も早く実現されることを願っております。



▲実の内部と種子約5万粒
2009.10.11



▲生存が確認された種子
2009.10.11



▲播いた種子の管理状況
2009.10.11



▲推定発芽後3年の実生苗
2009.6.11

自生地のアツモリソウの花も、深い生態系に守られ、深紅の美しい花を咲かせています。アツモリソウの美しさは、まさに富士見の自然の美しさのシンボルです。私たち富士見町の住民は、この美しい水と空気と光と緑と(風土)に連なって、富士見の生態系に守られています。

見直そう! ごみの減量と資源化

—資源物の収集量と処理費用をお知らせします—



▲資源物の収集風景

町では、6種類17品目の資源物収集を実施しています。平成20年度に資源物を収集運搬・処理するために要した費用は、28,545千円(1人当たり1,849円)でした。ごみを分別することによりその大部分をリサイクルすることが、これからの時代に求められた重要な課題です。ごみの減量と資源化の推進は、私たち一人ひとりの努力の積み重ねです。毎日出るごみをもう一度見直しましょう。

平成20年度に収集した資源物の収集量と処理費用

種類	品目	収集量	1人1年当り	収集運搬費用	処理費用	リサイクル商品(代表的なもの)
びん類	無色	49.1t	3.2	2,410千円	1,427千円	びん、タイル、ブロック
	茶色	35.7t	2.3			
	その他	31.0t	2.0			
古紙類	新聞・チラシ	223.8t	14.5	7,469千円	(売却)	新聞紙、印刷用紙、情報用紙
	雑誌類	162.6t	10.5			雑誌、厚紙、ダンボール
	ダンボール	90.4t	5.9			ダンボール、ロール紙の芯
	その他紙	48.6t	3.1			コピー用紙、トイレトペーパー
	紙パック	2.4t	0.2			トイレトペーパー
布類	古着・古布	24.8t	1.6	9,503千円	735千円	雑巾、海外向け古着
	ペットボトル	7.6t	0.5		(売却)	作業着、筆記用具、ごみ袋
プラスチック類	発泡スチロール 白トレイ	3.4t	0.2	9,503千円	108千円	ビデオテープのケース、おもちゃ
	容器包装プラスチック	68.7t	4.5		4,973千円	プラスチック製品、固形燃料
	その他プラスチック	11.8t	0.8			
	有害物	蛍光灯	3.3t		0.2	1,005千円
	乾電池	3.5t	0.2	915千円	マンガン、鉄製品	
天ぷら油	天ぷら油	2,210 (2.0t)	0.1	(NPOに提供)		BDF(バイオディーゼル燃料)
合計		768.7t	49.8	19,382千円	9,163千円	
1人1年当たりの費用				1,255円	594円	

紙類とペットボトルを売却

町では、分別収集した紙類とペットボトルを売却しました。

(平成20年度の売却金額)

紙類 5,049,535円 ペットボトル 219,047円

合計 5,268,582円

売却単価は市場の価格変動が激しいことから、前月の市場価格を参考に中間処理委託先と毎月協議決定しました。

売却による収入は、資源物の収集運搬や処理などのリサイクル推進事業費に使われました。

種類・品目	売却単価 (円/)	収入金額 (円)	
紙類	新聞・チラシ	4~14	2,637,012
	雑誌類	1~9	1,035,998
	ダンボール	7~14	1,061,745
	その他紙	1~9	289,811
	紙パック	10~12	24,969
	小計		5,049,535
ペットボトル	1~35	219,047	
合計		5,268,582	

燃えるごみの中には、再生できる紙がたくさん含まれています。
燃えるごみの減量と資源化に向けて、分別にご協力をお願いします。

問 建設課 生活環境係 ☎62-9114 ㊟9114

1年間よろしくお願ひします
平成22年

区長さんを紹介します

御射山神戸区	小林 定博	瀬沢新田集落組合	植松 龍郎
栗生集落組合	小松 康孝	富里区	五味 滋
大平区	三井 昌洋	富士見台区	金澤 武芳
松目区	西 修一郎	桜ヶ丘区	五味 和秀
原の茶屋区	名取 俊雄	下島木集落組合	進藤 利雄
若宮区	前島 保	上島木区	岩田 進
木之間区	小林 孝之	神代区	森山 誠
花場区	五味 安平	烏帽子区	小林 武憲
休戸区	大橋 弘子	平岡区	五味 正氣
横吹区	花原 了	机集落組合	五味 平一
とちの木区	小林 茂達	先能集落組合	名取 吉幸
富士見区	小林 武二	瀬沢区	坂本 柚三郎
南原山集落組合	笠原 比古	小六区	小池 美千男
富原区	金子 卓	高森区	小林 俊一
富士見ヶ丘区	田中 義雄	信濃境区	伊藤 建樹
塚平区	細川 洋一	池袋区	平出 直文
富ヶ丘区	池田 利隆	田端区	平出 好則
乙事区	小池 兼正	先達区	水野 英政
立沢集落組合	小池 千卷	葛蓬集落組合	平出 親秀

住民税・所得税

申告情報

(第2回)



申告書は、
自分で書いてお早めに
所得税の還付申告は、1月から
税務署で受け付けています。

確定申告をしなくてよい場合でも、
次のような方は還付を受けるための
確定申告書を提出することができます。
◆ 給与所得や退職所得のある方で、
雑損控除・医療費控除・寄付金控 除・
住宅借入金等特別控除などを 受け
ることができ
◆ 給与所得者で、年の途中で退職し、
その後就職しなかったため年末調
整を受けなかった方
◆ 予定納税をしたが、確定申告の必要
がなくなった方

寄りの会場で、お早めに手続きされる
ことをお勧めします。

◆ 対 象

給与所得者や年金を受給されてい
る方

◆ 日 程

2月4日(木)～2月10日(水)

※土・日・祝日を除く

午前10時～午後3時(正午から午後
1時まで)は昼休みです)

◆ 相談会場

岡谷市役所
茅野市役所議会議棟(市役所北隣)

【確定申告書の提出先】

諏訪税務署 〒392-8610

諏訪市清水2丁目5番22号

電話相談センター

☎52-1390

自動音声案内 番号「1」

諏訪税務署

☎52-1390

自動音声案内 番号「2」

【e-taxに関するお問い合わせ】

問 諏訪税務署 個人課税部門

☎57-5211

還付申告ができる方は、1月から確
定申告書を提出することができます。
確定申告の期間は、申告会場が大変混
雑しますので、国税庁ホームページの
「確定申告等作成コーナー」を活用い
ただき、電子申告や郵送などにより、
お早めに提出をお願いします。

【所得税の確定申告期限】

●平成22年3月15日(月)

【確定申告の無料税務相談】

関東信越税理士会諏訪支部では、次
のとおり無料税務相談を行います。最

国税庁のホームページで申告書の作成ができます

◆ 国税庁ホームページアドレス <http://www.nta.go.jp>

問 財務課 町民税係

☎62-9122

☎9122

任期満了に伴う

「富士見町農業委員会 委員一般選挙」

◆告示日：平成22年3月2日(火)

◆投票日：平成22年3月7日(日)

■農業委員会の構成

*農業委員会委員選挙により選出される委員……………13名
*農協・農業共済組合が推薦する者及び議会が推薦する学識経験者……………6名以内

■投票できる人

今回の選挙で投票できる人は、平成21年1月1日現在の申請に基づいて、同年3月31日に確定した農業委員会委員選挙人名簿に登録されており、富士見町に住所のある人です。

農業委員会委員一般選挙の詳しい内容は、広報ふじみ2月号でお知らせします。

〈選挙に関するお問い合わせ〉

富士見町選挙管理委員会事務局

☎62-94003

☎94003

役場とコミュニティ・プラザの障害者 用トイレに、オストメイト(人工肛 門・人工膀胱造設者)対応トイレ設 備を設置しました

直腸がんや膀胱がんなどが原因で、臓器に機能障害(内臓部障害のひとつ)を負い、手術によって、人工的に腹部へ人工肛門や人工膀胱の「排泄口(ギリシャ語でストーマ)」を造設した方を「オストメイト(Ostomate)」と言います。国内には20〜30万人のオストメイトがいると言われています。

オストメイトの方は挿線筒がないため、便意や尿意を感じたり、我慢することができません。そのため便を溜めておくための袋「パウチ」を腹部に装着しています。パウチに溜まった排泄物は、一定時間ごとに便器や汚物流しに捨てる必要があります。このときに、パウチや腹部を洗浄する必要があります。そのため設備を備えたトイレが、最近設置されるようになってきました。町でも、役場1階とコミュニティ・プラザの障害者用トイレに設置いたしましたのでお知らせします。

◆オストメイト対応トイレについては、公共交通機関を中心に次のようなマークが表示されています。どうぞご利用ください。



役場1階



コミュニティプラザ

「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)」にご意見をお寄せください

一般廃棄物処理基本計画は、一般廃棄物の処理責任を負う市町村が、その区域内の一般廃棄物を管理し、適正な処理を確保するための基本となる計画です。

現在の計画は平成17年3月に策定されましたが、灰溶融施設整備を中止し新たな最終処分場を整備するという基本的事項に大きな変更があり、計画の改定を進めてきました。このたび、計画案がまとまりましたので、この案について町民の皆さんのご意見を募集しています。

■募集期限 平成22年1月15日(金)必着

■資料の閲覧 富士見町ホームページまたは下記の施設で資料を直接閲覧できます。

①富士見町役場建設課(2階) ②コミュニティ・プラザ ③井戸尻考古館

応募資格、応募方法については、富士見町ホームページをご覧ください。担当までお問い合わせください。

☎建設課 生活環境係 ☎62-9114 ☎9114

『中学生の税に関する作文』

優秀作品表彰



12月1日、役場において、「中学生の税に関する作文」の表彰式が行われました。作文91点が寄せられ、諏訪税務署長賞などを7人が受賞しました。

受賞作文

● 諏訪税務署長賞

「税について」

富士見高原中学校3年

植松 ゆき

● 諏訪地方事務所長賞

「税について」

富士見高原中学校3年

生澤 夏希

● 富士見町長賞

「税金とは」

富士見高原中学校3年

遠山 敏史

「これからの社会と税」

富士見高原中学校3年

坂本 萌々佳

「税の大切さ」

富士見高原中学校3年

伊藤 夕加里

「税のありがたさ」

富士見高原中学校3年

森谷 彩花

「税について」

富士見高原中学校3年

小林 史果

◎ 受賞作文から2点をご紹介します。

「税について」

富士見高原中学校3年

植松 ゆき

私は、税金は何だか沢山名前があったり、親にたまに届く難しそうな税についての書類を見たりして、「何かよく分からないけど、大人になってちゃんと理解していけるのかな」と思っていました。でも、よく周りを見てみると、消費税とか、税金が使われている教科書とか、私に関わる税は沢山あると分かりました。

私の住む町に、何年か前に大きな橋が造られました。税金をものすごく使って建てられたもので、親やその友達とかが、「税金の無駄使いね」と言っているのを聞いたことがありません。確かに、普通に今ある道を通れば、橋がなくても目的地へすぐ行けるし、あまり橋を造ってほしいと言っている人はいませんでした。私はその時小学生で、税のことはほんやりとしか知らなかったけど、「別になくてもいい橋なのにすごいお金がかかるんだ」と思っていました。

何年もかけてついに橋が完成し、その中に歩道があつて、車も人も行き来できるようになりました。でも、私の家ではあまり利用しなくて、「やっぱりあまりいらなかったんじゃないのか」という話をしたりしていました。

一度、私の通う小学校で、その橋

の工事現場へ実際に行き、責任者の人に質問する機会があり、そこで、「何故、橋を造るのか」と聞くと「新鮮な農産物をいち早く市場へ届けるため」という答えが返って来ました。下の道を通ると十分くらいは違わないのに、ちよつと変だなと思つたこともありました。中学生になり、橋もすつかり土地になじんでいます。でも、小中学校共に、橋は通学路になつていませんでした。

ある日、いつものように通学路を歩いていると、橋の近くへさしかかつた時、小学生が橋を渡ろうとしているのが見えました。学校のあと、帰つて親に聞くとあの橋が小学校の通学路になつたということが分かりました。前の通学路と比べるとすくなく通うのが楽になるそうです。私は橋を渡る小学生が笑顔だったのを思い出しました。

私は今まで、自分達とその周りの人達の意見しか聞いていませんでした。あの橋が出来たことですごく助かる人達も沢山いたのです。

税金は、皆のために払われるお金です。私はこの件で、自分達の都合で税金を無駄使っているとか言っていたことは間違っていたことを知りました。人の環境は違うから意見が分かれるのは当然だけど、どちらかの意見を認めず非難したり、ある意見に流されたりせず、皆で話し合つて互いの主張を理解しあうことが大切だと思います。そうして使つ

た税金は、決して無駄使いではないと、私は思います。



たくさんのご応募ありがとうございました。町では、受賞作品を広報に掲載し、税への意識向上に役立てていきます。

「税について」

富士見高原中学校3年

生 澤 夏 希

私は国の税の仕組みについて、本当に無知です。難しい仕組みを知るのは大変そうだし、まだいい、と思つてきたからです。

しかし、そんな私のまわりの家族や友人は様々な税金を払っているし、今、使っている校舎や机、学校への道も全て税によつて造られていることは知っています。

私の町では税を使った事業として道路の拡張工事が行われています。もとから両車線通行で、以前までも何の問題もなく使えた道路を、です。はつきり言つてその税の使われ方はあまり意味を持たないと思います。

税は、今あるものをより良くするために使うのも良いと思います。まず、無いものを作るため、補うために必要だと思います。私の町で足りないもの、それは病院です。公立病院はありますが、小児科、産婦人科などは医者不足で他市の病院へ行かなくてはならない事もあります。なので、まずは病院を税によつて活性化させることが必要だと思います。税で道を新しくしても、元気がなかつたら使えないし、元気がなかつたら税も納まらない。税はみんなの元気を作るために使われてスタートラインに立てると思います。

私の町には、たくさんの老人ホー

ムがあります。どの老人ホームにもたくさんのお年寄りの方がいらつしやいます。町の公共施設はバリアフリーの造りもあり、とてもお年寄りに優しい町だと思います。お年寄りの方が住みやすい町にするため、税が使われていることはとても良いことだと思います。税金によつて弱い人をサポートできることは素晴らしいことだと思います。

税金の使い道はたくさんあるけれど、有効な使われ方をされている税は本当に大切だと思います。私も様々な税を払うようになったら、しっかりと税のことを考えていきたいと思つています。

そして何より、一番税に感謝しなければならぬことは、こうして学校で税の勉強をさせてもらったのも、税によつて造られた道を通つて学校へ来ることができたから。税によつて建てられた綺麗な校舎があるから。買われた机やイスがあるから。

全て、顔も知らない人達が納めてくださった税金があるから、こうして税の勉強ができたのです。私の生活の為に使われている税金に感謝して、これから、税について知つて、勉強して、「無知」から脱出したいです。

「子どもの幸せを願って」



教育長

小林 洋文

新年、明けましておめでとございます。

本年は、富士見町の教育の歴史のう
えで記念すべき節目の年になります。
いよいよ4月1日から「富士見中学
校」が開校される運びとなりました。
町民のみなさんは、新しい中学校に大
きな期待を寄せられていると思います。
中学生のみなさんも夢と希望に胸を膨
らましていくことでしょう。期待に背
かない立派な中学校にしたい。一そ
ういう強い願いをもって私たちは今
着々と準備を進めています。

「これで富士見町民は心が一つにな
る！」という喜びの声をお聞きしまし
た。対等平等の統合がもたらした結果
ではないでしょうか。よかったと思っ
ます。

3月31日をもって富士見高原中学校

と南中学校は、半世紀に及ぶそれぞれ
の歴史に幕を閉じることになります。が
その歩みはいつまでも卒業生をはじめ
町民のみなさんの心に残るでしょう。
思い出は不滅です。

また本年は、児童数が急速に減少し
ている落合小学校の今後のあり方に結
論を出すべき年でもあります。

136年の輝かしい歴史と伝統をも
つ諏訪郡の中心校の一つですが、平成
25、26年度の新生1年生は3名、2名
にまで減少し、複式学級（2つの学年
を一人の先生で担任）が避けられなく
なります。平成27年度の全校児童数は
24名の見込みです。

このような状況から、富士見町教育
委員会は、スクールバスを運行するこ
とを前提とする「落合小学校統合計画
（案）」を作成します。
地域住民のみなさんの理解と納得を
いただくために教育懇談会を開催しま
す。

「教育は百年の計」。拙速に事を運
んではならないと承知しています。
「子どもの最善の利益」を最優先する
ことを共通理解として話し合えば、必
ずよりよい答えが出る。そのことを私
は信じて、新年のあいさつとします。

平成22年1月1日発行
富士見町教育委員会編集
☎62-9235
kodomo@town.
fujimi.nagano.jp

定例教育委員会
1月13日(水)
2月10日(水)
午前10時より
役場2階会議室
(変更の場合もあります)

子どもに関する
何でも相談
お気軽にご相談
ください
月・火・木曜日
午前9時～午後3時
☎62-3118
教育相談員が
対応します



平成22年度 児童クラブ申込みについて

- 対象児童 富士見・本郷・境小学校区
に在住の小学校1年生から
4年生で、放課後保護
者が就労等で家庭に居な
い児童。
- 要件 保護者による送迎(迎いは午後
6:45までに)ができること
- 費用 利用料 月額3,000円
傷害保険料 年額600円
- 申込み 締切日 1月22日(金)
提出先 各小学校・保育園
または子ども課に提出してください。

※夏休みなど長期休業中は、落合小
小学校区の児童も対象となります。

問 子ども課 子ども支援係 ☎62-9237 有9237

富士見高原中学校駅伝チーム 北信越大会出場



11月20日、富士見高原中学校の男女駅伝チーム
14名が、11月23日開催の北信越大会出場を前に、
教育長を訪問しました。県大会では男子8位、女子
11位に入賞し北信越大会出場を決めました。

富士見高原中学校は陸上部がなく、男子は野球
部を引退してから、女子はバスケットボール部や他
の部員でチームを構成し、毎日自主的な練習を積
んできました。北信越大会では、団結して襷をつな
ぎ、全力を尽くしました。

南中学校閉校式典

11月28日、南中学校で閉校式典が行われました。生徒、保護者、卒業生、歴代校長、地元住民など約400人が出席しました。

南中学校は1958（昭和33）年に開校し、校舎は諏訪地方で唯一現在も使用されている木造校舎です。

式典は全校生徒による「大地讃嘆」の合唱で幕を開けました。校歌の合唱は、富士見ウインドオーケストラの演奏に合わせて歌われました。

藤嶋昭さん（神奈川科学技術アカデミー理事長）による記念講演会「さくらにはなぜ一斉に咲くのか？」では、感動することの大切さや、研究には本を読み広い教養をつけることが大事だと話しました。また生徒からは積極的に質問が出されました。

生徒が制作したスライドショー「52年間の歩み」では、開校当時の学校行事の様子が白黒写真で映し出されるなど、歴史を振り返りました。

式典の最後には全校合唱「ふるさと」が歌われました。会場には、10年ぶりの写生大会で描かれた校舎や廊下の絵が式典に華を添えました。



富士見ウインドオーケストラの演奏に合わせて校歌を合唱

三村昌弘校長は「この木造校舎の学舎が、本日の式典が、同窓生、地域の皆さんには来し方をしのび、南中学校の前途への願いを温めるよすがとなり、現生徒110名の皆さんには、温故知新の糧となることを願っています」とあいさつしました。

越中雄士生徒会長は「あと4ヶ月の中学校生活。限られた時間の中で、南中学校にありがとうの気持ちを伝えたい」と在校生を代表し閉校への想いを語りました。

南中学校の歴史の重さ、木造校舎への想いが表れた閉校式典となりました。

富士見高原中学校閉校式典

12月5日、富士見高原中学校で閉校式典が行われました。生徒や卒業生、保護者など600人を超える出席があり、1953（昭和28）年の開校から、57年の歴史を振り返りました。

式典は3年生による太鼓演奏で壮大な始まりとなりました。学年別に「学校の歩み」が発表され、1年生は開校から現在までの歴史をまとめ「高原中新聞」を制作しました。「不安もあるが皆で新しい学校をつくっていきたい」と期待を込めました。

2年生は富士見の魅力を一コマに作成したCMを上映しました。また「富士見中学校の1期生として両中学校の伝統を一つに、新しい中学校をつくりたい」と語りました。

3年生は3年間の足跡として、文化祭や音楽会など学校生活を振り返り、「足跡はみんなの思い出でできている」と発表しました。

「卒業生の思い出」として、生徒会歌を作曲した窪田作栄さん、現在まで続く敬老の集いを始めた生徒会長である小池千尋さんが、当時の生徒会の様子などを話しました。

全校生徒による「河口」合



3年生太鼓講座の皆さんによる太鼓演奏

唱、校歌斉唱は出席者全員で歌われ、歌声が会場に響き渡りました。

鈴木清校長はあいさつで「『少子化に伴う単なる設置制度改革ではなく、新しい理念に基づく魅力ある学校を創設する』という基本姿勢をいかに実現するか、一人一人の生徒にきめ細やかな指導をしていく」と統合で一番大事にしたことを話しました。

小口潤生徒会長は「学校がなくなる事実は重いですが、後輩が両中学校の伝統を引き継ぎ作ってくれる。この瞬間に立ち会えたことを喜びに思う。」とあいさつしました。

南中学校への期待と決意が表れ、生徒自身で作り上げた式典となりました。

編集後記

富士見高原中・南中の閉校式典が行われ、私は卒業生ではありませんが、生徒の中学への思いを肌で感じ大変感動しました。生徒みなさんの更なる成長と活躍を期待します。(Y)

1月17日(第3日曜日)は家庭の日

今年1年も、あいさつや会話など家族みんなが互いに声をかけあい、心が通い合う家庭にしていきたいでしょう。

ふるさとのみなさんへ

東都高原富士見会だより



五味 ^{ゆたか}温
東京都八王子市
(小六出身)

七十二歳の同年会

昭和27年度の境中学校卒業生は約103名で、内13名の方がお亡くなりになり、4名の方の居住先が分からなくなっています。

境小・中の9年間に何回かのクラス替えがあり、おおむね全員が同じ教室で学んできたということで、会の名称を「同年会」とし、開催しています。幹事は持ち回りとして、境地区は7地区あるため7年に一度の幹事役になります。小六から始まり、今年で四巡目に入り、良く続いています。今年の新装なった八峯苑鹿の湯にて10月28日、38名の参加をみての開催となりました。

幹事役の仕事は、日時と会場の決定から始まり、計画の案内の送付、それから出欠の返事待ちです。日々数枚の返事をいただきながら、7年前の幹事役の時とは何か違う文面が多く、「老老介護のため行きたいけれど、家を空けられない」「足が痛くて」「主人が入院で・・・」。

当日、時間とともに懐かしい顔が一人、また一人「牧、元気だったかい」「や、は、坊、元気かい」。不思議なことに、名字で始まる挨拶がありません。

さすがに誰を見ても酒量は落ちて、会話の方が多くなってきたなと思います。

72歳、若いとは言えないが、毎年続く「同年会」に参加できるよう楽しみにして、今年の写真をみなさんに送ろうと追い込み中です。



平成21年10月28日 ホテル八峯苑鹿の湯

平成21年 富士見町重大ニュース



富士見町長選挙執行 小林一彦町長が就任



同報無線・告知放送運用開始



都市計画道路 「北通り線」竣工



「ふじみ町公民館報」が(社)全国公民館連合会主催
第2回全国公民館報コンクールで優秀賞受賞
(平成20年9・10・11月号)



タスマン郡(ニュージーランド)に
友好記念プレートを設置
(3月21日 現地でセレモニー)



図書館貸し出し冊数 11年連続日本一を達成▶

写真は4月26日の子ども読書の日の様子です。
これからも、みなさんに親しんで
いただける図書館をめざします。



◀ 新型インフルエンザの流行

町では4月に対策本部を設置し、
感染防止対策に努めています。
町民のみなさんも、引き続き手洗
い・うがい・マスクの着用など、自
己防衛をお願いします。



◀ エコライン全線開通

茅野市お茶清水から富士見町乙
事まで、総延長16.2kmの全線が
開通しました。

■11月15日～12月14日の届出■〈敬称略〉
●出生・転入・転居は14日以内に 死亡は7日以内に届出を

結婚おめでとう

氏名	出身地
小林 隆司	富里
三井 朋恵	乙事
名取 時史	富士見
桑 澤 薫	辰野町
五味 秀行	富士見
小 林 美香沙	田 端

出生おめでとう

氏名	父の名	母の名	区名
平出 侑 ^{あつむ}	彰	綾	南原山
小池 奈都 ^つ	琢 磨	淑 子	乙 事
小林 真綾 ^{なま}	淳 彦	瑞 穂	信濃境
窪田 大智 ^{だいち}	智 史	智 子	富士見
伊藤 創太 ^{そうた}	滋	敬 子	富士見ヶ丘
堀内 瑛太 ^{えいた}	貴 博	尚 子	富士見
野本 瑛都 ^{えいと}	龍 二	さとえ	桜ヶ丘
小林 香菜 ^{かんな}	滋	幸 子	先 達
植松 杏琉 ^{りゅう}	和 幸	さゆり	立 沢
矢 沢 一徳	一 徳	琴 音	瀬沢新田

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	世帯主	区名
小池 かをる	82歳	禮五郎	富士見
名取 查	94歳	查	富士見
塩原 やす	85歳	やす	塚 平
武藤 さつき	91歳	有 廣	烏帽子
浅尾 春榮	72歳	久 男	富 里
平出 ちる	86歳	昭 三	富 窪
矢沢 年春	90歳	年 春	富士見ヶ丘
雨宮 はま	59歳	勝 徳	富 里
野 嶋 小	81歳	い 小	富 里
伊 藤 小	89歳	小	御射山神戸

1月の納税等

町県民税／後期高齢者医療保険料
国民健康保険料／保育料
上下水道使用料／住宅使用料

納期限・振替日は2月1日(月)です

※毎週火曜日は午後7時まで夜間納税窓口を開設しています。ご利用ください。

問 財務課 収納係 ☎62-9123 ㊟9123

くらしの情報

相談

消費生活巡回相談

- 日時 1月19日(火)
午前10時～午後3時
- 会場 コミュニティ・プラザ 2階研修室
- 内容 点検商法や訪問販売など商品等購入に関するトラブルや振り込め詐欺、多重債務などに関する消費生活相談
- 持ち物 契約書などの関係書類
- 費用 無料

- 予約 不要
- 相談には専門相談員が対応します。
- 問 おかや消費生活センター
☎62-8260

教室

幼児食教室ぱくぱく教室

- 日時 2月2日(火)
午前10時～正午
- 会場 保健センター2階
- 内容 幼児食についての話と料理実習(子どもと一緒につくりまします)
- 対象 2～3歳児とその家族
- 持ち物 エプロン・三角巾

募集

スキー教室 参加者

富士見町には、体育館へ出かけるのとかわらない距離にスキー場があります。この恵まれた環境を活かして、生涯を通じて楽しめるウインタースポーツ、スキーの技術を習得しましょう。ご家族での参加も歓迎です。

住民福祉課 保健予防係
☎62-9134 ㊟9134

- (親子とも)
- 参加費 無料
- 定員 先着17組
- 申込 1月22日(金)
- 申込問

- 日時 程 毎木曜日全4回
1月28日・2月4日・11日・18日
午後6時30分～午後8時30分
- 会場 富士見高原スキー場
- 受講資格 町内に在住又は通勤・通学する小学生以上の方
- 指導者 NPO富士見町体育協会
スキー部員
- 受講料 4千500円
(リフト代・保険料)
- 定員 先着30名
- 申込締切 1月21日(木)
- その他 スキーウェア及びレンタル

スキーは、各自教室開始前
に手配ください。
生涯学習課 社会体育係
☎62-2400 ㊟2750



くらしのガイド 1月 (1月11日～2月10日)

相談・説明会

相談・説明会名	日 時	会 場
行政相談	1月15日(金) 午前10時～午後3時	町民センター
心配ごと相談	1月15日(金) 午前10時～午後3時	町民センター
出張年金相談	2月3日(水) 午前10時～午後3時	役場3階 301会議室
税 理 士 無料税務相談	1月13日(水) 2月10日(水) 午前10時～正午	下諏訪商工会議所会館 ☎28-6666
結 婚 相 談	1月12・19・26日(火) 2月2日(火)・7日(日) 午後1時～午後6時	結婚相談所(消防署隣り) ☎62-7853
シルバー人材センター 入会説明会	1月13日(水) 2月10日(水) 午後2時～	茅野広域シルバー人材 センター ☎73-0224
女性のための 悩み相談	一般相談は電話で受付 (毎週火曜日～土曜日)	県男女共同参画センター (岡谷市) ☎22-8822

◆心配ごと相談 問 社会福祉協議会 ☎62-6766 圏8988

スポーツスケジュール

日 時	事 業 名	会 場
1月6日(水)・7日(木) 午後6時30分～	初心者スケート教室	茅野市 国際スケートセンター
1月8日(金) 午後7時～8時30分	地域スポーツクラブ事業 すくすくスポーツデー	町民センター(2階)
1月9日(土) 午後3時10分～	第44回 町民スケート大会	茅野市 国際スケートセンター
1月14・21・28日(木) 2月4日(木) 午後7時30分～	硬式テニス教室	町民センター
1月14日(木)・22日(金) 午前10時～	地域スポーツクラブ事業 ストレッチの集い	町民センター
1月16日(土) 午後1時30分～ 午後3時～	地域スポーツクラブ事業 キッズスポーツ冬季教室	ハケ岳コンディショニング サポート(乙事)
1月22日(金) 午後7時30分～	フリースポーツデー	町民センター
1月23日(土) 午後3時30分～	第38回 南諏親善スケート大会	茅野市 国際スケートセンター
1月28日(木) 2月4日(木) 午前10時～	地域スポーツクラブ事業 「げんき塾」(新事業)	町民センター
1月28日(木) 2月4日(木) 午後6時30分～	スキー教室	富士見高原スキー場
1月31日(日) ※荒天:2月7日(日) 午前9時30分～	地域スポーツクラブ事業 ナチュラルウォーキング (スノーシュー体験日)	入笠山周辺 (パノラマゴンドラ利用)
2月10日(水) 午後7時～	体育施設利用者会議	町民センター

問 生涯学習課社会体育係 ☎62-2400 圏2750

主な行事

日 時	行 事 名	会 場
1月10日(日) 午前9時～	富士見町消防団出初式	富士見町役場前 駐車場 他
1月10日(日) 午後1時30分～	富士見町成人式	コミュニティ・プラザ
2月4日(木) ～5日(金)	西伊豆町スキー交流 (富士見小5年生)	富士見高原スキー場

休日当番医・薬局

期 日	当 番 医	当番薬局	
1月	11日(月祝)	高原病院 ☎62-3030	藤 沢 薬 局 ☎62-2106
	17日(日)	高原病院 ☎62-3030	さくら藤沢薬局 ☎61-1815
	24日(日)	小 林 医 院 ☎64-2043	ミツワ西友薬局 ☎62-7586
2月	31日(日)	高原病院 ☎62-3030	さくら藤沢薬局 ☎61-1815
	7日(日)	高原病院 ☎62-3030	ミツワ西友薬局 ☎62-7586

全町対象／燃えるごみの収集

日 時	毎週月曜日 午前9時～11時 (祝日も実施)
場 所	役場裏駐車場(第2体育館駐車場)

粗大ごみの収集

1月18日(月)	乙事・小六・高森・烏帽子 富士見高原ベンション
1月25日(月)	信濃境・池袋・田端・先達・葛窪
2月 1日(月)	下鷲木・上鷲木・神代・平岡 机・先能・瀬沢・富士見台
2月 8日(月)	富士見・富里

資源物の収集

1月21日(木)	富士見地区
2月 4日(木)	本郷・落合・境地区
※プラスチック類のみ	
1月21日(木)	本郷・落合・境地区
2月 4日(木)	富士見地区

役場窓口業務 延長日

1月12日(火)・19日(火)・26日(火)
2月2日(火)・9日(火)

水道指定給水装置工事事業者 土・日・祝日当番店

月 日	当 番 店	電話	有線
1月	11日(月祝)	山 本 管 工 事	64-2649 8940
	16日(土)	戸 井 口 建 設	65-3213 5396
	17日(日)	三 善 工 業	66-2078
	23日(土)	坂 本 鉄 工 所	62-2065 3153
	24日(日)	窪 田 設 備	62-7004 5833
	30日(土)	窪 田 鉄 工 設 備	62-3253 2766
2月	31日(日)	エ ン ド ウ	62-5656 2732
	6日(土)	リビングクボタ	62-5391 3712
	7日(日)	富 士 見 設 備	62-2421

さんには

◆地域包括支援センター
☎62-8200 ㊟8200

地域包括支援センターです

おばあちゃんの ありがとさまえ日記

—“転ばないようにするにはどうしたら”編—

1月△日 火曜日 くもり

毎日散歩をしているが、先日、足がつかかり、転んでしまった。段差もなかったのに、だんだん足が弱くなったかなあ、困ったよー。

そんな時、高齢者クラブの出前講座で地域包括支援センターの人から転倒の話聞いたことを思い出した。

①なぜ転倒してはいけないのか

高齢者は骨粗しょう症になりやすく、転倒から骨折し、寝たきりとなる場合もある。

②高齢者が転倒しやすい理由とは?

【バランス感覚】【下肢筋力】【視力】の低下があるため、薬によっては副作用でふらつくこともあるらしい。

③転倒の防止策

- ・食事はカルシウムを多く摂取し、骨を丈夫にする。
- ・足に合った靴を履き、かばんはリュックなどを用いて両手を空ける。
- ・住宅の段差をなるべく解消し、手すりや踏み台などを活用する。
- ・無理のない範囲でできるだけ体を動かし、膝や腰を支える筋肉を鍛える。など



誰もが転ばないように願っているけれど、そのためには、ちったあ努力も必要なんだ。出前講座でやった運動でもしてみよう。ありがとさまえ。

健康ふじみ21

◆住民福祉課 保健予防係
☎62-9134 ㊟9134

いきいき通信

—富士見町健康づくり計画「健康ふじみ21」
を推進しています—

お酒とのお付き合い

今年の諏訪大社御柱祭に向かい、今後飲酒の機会が増えることになると思います。

アルコール飲料は一般に「嗜好品」とされていますが、同時に「依存性のある薬物」というもう一つの顔があります。飲み方によっては急性アルコール中毒やアルコール依存症、臓器障害などの健康問題を引き起こします。

日本には、少なくとも440万人のアルコール依存症者とその予備群がいるといわれていますが、そのほとんどが診断も治療も受けていません。

あなたのアルコール依存症度はどうでしょう。今までに、こんなことはありますか?

1. 飲酒を減らさなければいけないと思った
2. 飲酒を批判されて、腹が立ったり苛立った
3. 飲酒に後ろめたい気持ちや罪悪感を持った
4. 朝酒や迎え酒を飲んだ

2つ以上当てはまった方は、アルコール依存症の可能性がります。

当てはまらなかった方も含め、節度ある飲酒にこころがけ、他人へのお酒の強要や、一気飲みなどはやめましょう。



富士見町健康カルタ

「山歩き 足腰きたえ 元氣源」

富士見 進 藤 五十鈴

親と子の健康ガイド

1月 (1月11日~2月10日)

◆健康診査・予防接種

事業名	対象児	期日	集合時間	会場
4ヵ月児健診	平成21年9月生まれ	1月15日(金)	午後1:00	保健センター
7ヵ月児健診	平成21年6月生まれ	2月 5日(金)	午後1:00	
10ヵ月児健診	平成21年3月生まれ		午後1:40	
1歳6ヵ月児健診	平成20年7月~8月生まれ	2月 9日(火)	午後1:00	
2歳児歯科健診	平成19年11月~12月生まれ	1月26日(火)		
3歳児健診	平成18年11月~12月生まれ	1月19日(火)		
B C G	平成21年7月13日~平成21年10月12日生まれ	1月12日(火)	午後1:30	
	平成21年8月3日~平成21年11月2日生まれ	2月 2日(火)		
3種混合	生後6ヵ月~7歳6ヵ月	1月27日(水)	午後1:15~1:50(受付)	

◆相談・教室

事業名	期日	受付時間	会場
乳幼児相談	1月14日(木)	午前9:30~10:30	保健センター
	2月 4日(木)		
地域乳幼児相談	1月21日(木)	午前10:15~11:00	子育てひろば「AiAi」 (町民広場・研修センター)
母親学級(日) 歯科健診・調理実習	1月20日(水)	午後1:10~1:20	保健センター

問 住民福祉課 保健予防係 ☎62-9134 ㊟9134

【毎月19日は食育の日です】

食生活を見直して、今年1年健康で元気に過ごしましょう

今日から明日へとたゆみなく続くまちづくり、地元事業者の皆さんの活躍は大きな力です。町民の皆さんも、どうぞ応援をよろしくお願ひします。今月は、富士見で『麵処・美酒処 染』を営む小林貴臣さんをご紹介します。



小林 貴臣さん(32歳)
『麵処・美酒処 染』経営

Q1 仕事の内容をご紹介ください

昼間はラーメン店、夜は居酒屋です。

Q2 この仕事を選んだ理由は？

小さな頃から料理を作る事が好きで、専門学校で本格的に料理を学び、料理の奥深さに更なる興味を持ったためです。

Q3 仕事の中でご苦労されていることは？

何か新しい料理などを考えようとして、思い通りにいかず悩んでしまう事です。

Q4 この仕事をしていますと良かったと思う時は？

料理や店の経営を通じて様々な方達と出会い、新しいことを学ぶことができる事です。

Q5 今後の抱負をお聞かせください

いろいろな出会いを通じて自分の世界を広めながら、この店で何が出来るか、様々な新しいことについて、豊かな発想でチャレンジを続けていきたいと思っています。



おすすめは、長野県が信州ブランドのひとつとして開発した「信州黄金シャモ」を使った料理と、その鶏がらスープを使ったラーメン。好きな食材「信州黄金シャモ」を料理に取り入れるうち、出た骨でラーメンのだしがとれるかなとラーメンも始めました。ぜひご賞味ください。

最後に一言!

不景気が続く時代に開業し、富士見町の皆様に支えていただいきながら今日まで「染」を続けて来ることができました。先の見えない未来ではありますが、活気ある富士見を夢見て努力していきたいと思ひますので、ご愛顧よろしくお願ひいたします。

子どもたちの給食めぐり

“おいしく食べて元気に育て”



昔ながらのおはぎの食べ方・・・
とろいとしたえごまはこくがあり、
ご飯と良く合います。

【提供:富士見高原中学校栄養士】

②富士見高原中学校



富士見町産の食材を使った献立です。私たちの郷土にはこんなにもたくさんの食材があることを知って、そのすばらしさに気づいてほしいですね。富士見高原中学校の特色は、生徒会給食委員会の「残食0をめざそう」の目標のもと、残さず食べることができることです。食べ物を大切にいただくことを実践しています。

1 おはぎ(4人分)

- ① もち米480gを炊く。炊きあがったら五分つきする。
- ② えごま40gを煎る。2～3粒パチパチとはぜたらすり鉢に入れ、良くする。油が出てきたら砂糖32gと塩2gを入れ、更にする。水300ccを少しずつ入れてよくすってとろとろにする。
- ③ 茶碗に①を盛り、②をかける。

2 焼きししゃも(4人分)

- ① ししゃも8尾をこんがり焼く。

3 塩もみ(4人分)

- ① 白菜120gをざく切り、大根120gを短冊切りにしてさつと茹で、こぶ茶0.8gと火にかけてアルコールを飛ばしたみりん4gを混ぜ、さつと茹でてざく切りにした大根葉40gを散らす。

4 さつま汁(4人分)

- ① さつま芋200g、人参100g、大根140gはいちょう切り、長ネギ40gは小口切りにし、しめじ40gは小房に分ける。
- ② しらたき80gは下ゆでする。
- ③ 昆布と煮干し各2gでだしを取り、野菜と②を入れて煮る。
- ④ 8割くらい火が通ったら、酒をまぶした鶏肉60gを入れる。
- ⑤ 材料に火が通ったら調味料(みそ36g・みりん2g)を入れ、味を調える。
- ⑥ 最後にネギを入れて仕上げる。

5 りんご

- ① 1個を適当な大きさに切る。



厳しさも温もりもある富士見の冬、町のみなさんの様子をお伝えします。

南中学校閉校式典①

11月28日 南中学校



♪八ヶ岳裾野遠引く…。米山徹さん指揮、富士見ウインドオーケストラの演奏で6番まですべて歌った校歌。生徒110名と教職員、来賓、参加者約300余名の歌声がひとつになりました。

南中学校閉校式典②

11月28日 南中学校



閉校記念講演会講師(神奈川科学技術アカデミー理事 藤嶋昭先生)への質問タイムでは何人もの生徒が挙手。会場からは拍手が起き、科学に関して次々に鋭い質問が出ました。

富士見パノラマリゾート 安全祈願

12月2日 富士見パノラマリゾートゲレンデ



地元財産区・JR・警察・県・町・学校など、関係者がそろって安全祈願しました。この冬キッズパークにデビューする2匹目のイヌも、子どもたちに会えるのを楽しみにしていました。

富士見高原中学校 閉校式典①

12月5日 富士見高原中学校



全校生徒341人による合唱「河口」(指揮前島豪仁さん、伴奏矢沢恵理さん)。学校では、並び方を考えるのに苦心したそうです。歌声は堂々として、来場者の胸を打ちました。

富士見高原中学校 閉校式典②

12月5日 富士見高原中学校



式典の最後では、ギャラリーのカメラに向かって生徒、来賓、保護者、同窓会、卒業生、地域の方などが“はい! チーズ”全員で記念写真を撮りました。

第8回 富士見町木遣りコンクール

12月6日 町民センター



御柱祭を前に、町木遣り保存会、町大総代会主催により行われました。大人28人、子ども66人が自慢の喉を競い、会場からは木遣りに合わせて掛け声が上がっていました。

保育園発表会

12月10日 境保育園



町内5つの保育園で発表会が行われ、境保育園では年中児のリズム「Let's! フレッシュプリキュア!」、年長児の劇「眠り姫」、全員合奏「ジブリメドレー」などを元気よく発表しました。

桃組(年少)劇あそび「フントタンぶらんこのせて」



民宿に前泊し、親睦と団結を深めた富士見町選手団。準備運動は「御柱」の曲に合わせて行われ、沿道の声援を受けながら3km、5km、10km、ファミリー1.5kmの各コースを楽しく完走できました。

12月13日 西伊豆町夕陽の郷マラソン大会
潮風とともに走りました



落合小学校では、毎年全校で学校周辺の銀杏を拾っています。銀杏は5・6年生が手際よく袋詰めをして地域のみなさんに販売、児童会活動に役立てています。

今年も銀杏を拾ったよ
12月10日 落合小学校
焼いて食べてもおいしいよ！



西伊豆町で見た駿河湾の大海原のように、前途洋々たる2010年の幕開けです。今年はどんな1年になるでしょうか。みなさんにとって、充実した1年でありますように。

今年もよい1年で
ありますように……



町理事者、課長が出席し、平成21年最終区長会が開催されました。町長は、「区と町の連携プレイで町をよくしていきたい。この1年の経験・知識を今後も活かしていきたい」と挨拶しました。

最終区長会
12年間ありがとうございました
12月10日 J A会館ふじみ

うちの村のお宝紹介 第27回 『湯立祭』 とちの木

区史に詳しい小林剛さん(82才)に伺いました。

湯立祭は、昔は「おゆだて」と言い、いつの頃からかずっと続く行事です。

戦前のとちの木は養蚕と米づくりで生計をたてており、秋になり収穫が終わると、今年もありがたかったということで、11月28日に氏神様のそばの福昌院というお寺に世帯主が一重を持ち寄ってお参りをし一杯よばれたものです。子どもだった私は、その「おゆだて」の日にはうるち米でつくったおかるこをもらうのが楽しみでした。

祭は戦中の食糧難の時も欠かさず続けられ、5～6年ほど前にのぼりをつくってからは、

それを氏神様に立てて10月に区民全員が集まって甘酒を飲み、親睦を深めています。

元和6年(1620年)にとちの木区ができてから400年近くになります。

毎年欠かさず続く湯立祭で35軒の皆が顔を合わせ、心を通わせながら、これからも仲良く区の歴史を刻んでゆきたいものです。



とちの木区
小林 剛さん



とちの木区尾片瀬神社『湯立祭』 平成21年10月25日

次回は横吹区をご紹介します。

下葛木敬冠院の高座石の東に、百日紅（ひやくじつこう）『サルスベリ』の木がある。幹が大きく三つに分かれ枝を広げている。目通り180、110、48、あわせて338で高さはおおよそ10m。これほど隆隆とたくましいサルスベリは珍しい。8月末ごろ、傘状に広げた枝にはたくさの花が付き、華やかなピンク色に彩られ、周囲の緑や空の青まで引き込んだ景観をつくっていた。

いつ頃植えられたのだろうか。「富士見町の指定文化財（富士見町教育委員会発行）」には推定200年と誌されている。

猿もすべる さるすべり



サルスベリは、「襖萩（みそはぎ）科」落葉高木。中国南部の原産で、江戸時代以前に日本に入ってきています。樹皮は薄ッペラで、乾燥して剥げ（はげ）落ち幹が滑らかなります。白い花もあります。

《名の由来はさまざまで…》中国の伝説では、恋人と百日後に逢うことを約束した乙女が、約束の百日目の直前に他界、その死んだ日の後に咲いたという花。日本では元禄時代の園芸書「花譜」に、「紅花が100日咲く」と説明があったので、「百日紅」と呼ばれています。「猿滑」の名は、木の肌が滑らかなので、猿も滑って登れない様子からついたのでしょうか。また、木の肌を掻く（かく）とくすぐったそうなので、「クスグリノキ」という別名もあるようです。

姉妹町 西伊豆だより

穏やかな冬晴れの下「夕陽の郷マラソン大会」開催

富士見町の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年も西伊豆町から季節のたよりをお届けしますので、よろしくお願いいたします。

12月13日、西伊豆中学校グラウンドをスタートゴールに「第4回夕陽の郷マラソン大会」が開催され、1.5キロのファミリー、3キロ、5キロ、10キロの4コースに総勢410名の参加者が、沿道の声援を受け、健脚を競いました。

当日は風も無く、穏やかな冬晴れに恵まれ、絶好のマラソン大会日和となり、参加者は心地よい汗を流しながらゴールを目指しました。

また、大会には富士見町からも31名の選手の参加がありました。今年の大会にもぜひご参加ください。



大会に出場した富士見町の選手と応援者の皆さん

— 家庭から出る 燃えるごみの減量と資源化にご協力を —

■ 目標 平成22年度に1人1日の排出量300g

■ 11月実績

燃えるごみの 処理量	1人1日あたりの 排出量	前月比
188,540kg	409g	-14g

問 建設課 生活環境係 ☎62-9114 ㊟9114

- ◆町の人口 平成21年12月1日現在住民基本台帳(前月比)
総人口/15,384人(-10)
男 7,586人(+5) 女 7,798人(-15)
世帯数/5,674世帯(+3)
- ◆発行日 平成22年1月1日
- ◆編集・発行 富士見町役場 総務課
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10,777
TEL 0266-62-2250(代)
FAX 0266-62-4481
- ◆ホームページ <http://www.town.fujimi.nagano.jp>
Eメール fujimi@town.fujimi.nagano.jp
- ◆印刷 富士見印刷